

暗黒街の弾痕 (1937)

YOU ONLY LIVE ONCE

メディア 映画
ジャンル ドラマ 犯罪
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 86分
初公開日 1937/06
公開情報 劇場公開
リバイバル 1975/12 [I P]

【解説】

公選弁護士事務所で助手をする恋人ジョー（シドニー）の尽力で、短期で出所しトラック運転手の職に就いたエディ（フォンダ）は、早速、彼女と簡単な式を挙げ、新婚旅行に出かけるが、泊まったホテルですぐに前科者と知れて追い出しをくらった。それがミソのつきはじめで、ささいな遅配からクビになったエディは、金を持たず新居に戻る勇気のないまま安宿で過ごすうち、銀行強盗の犯人にされてしまった。ジョーは自首を勧め、彼は素直に従うが、次々に彼に不利な証拠があがり、遂に死刑判決を受けた。執行当日、エディはかつての仲間の用意したピストルで職員を脅し、脱獄を図ろうとする。そこへFBIより、彼の冤罪を晴らす打電が入った。常日ごろ、夫婦に親切にしてくれ、その日も駆けつけていた神父ドーランは必死に、彼が今や自由の身であることを説明するが、疑心暗鬼となったエディは聞く耳を持たない。神父は、逃げるなら自分を殺してから行け、とあくまで頑張る。フランクは乱射した。神父は、無事だ、と声を上げ、結局、彼を通させたが、その直後に絶命した。彼は紛れもない殺人犯となってしまった。ジョーと合流して、絶望的な逃避行を続けるが、二人の仕業でないことも彼らのせいになり、その“凶悪さ”が誤って喧伝され、犯罪で裕福になったとも噂されたが、実際は、銃弾跡をゴマかすため窓を割った車で雨風の吹き込むにまかせ逃亡していた。なんとか国境の町まではたどりついた二人だったが、そこには警官隊が待ち受けていた……。霧や独房での光と影の表現、S・シドニーのうるんだ瞳がわずかに喜びに震える瞬間の至福感、謎めいた銀行襲撃場面のスリル……。どこをとっても素晴らしい、ラング、アメリカ時代の最高傑作。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang
製作	ウォルター・ウェンジャー	Walter Wanger
原作	ジーン・タウン グレアム・ベイカー	Gene Towne Graham Baker
脚本	ジーン・タウン グレアム・ベイカー	Gene Towne Graham Baker
撮影	レオン・シャムロイ	Leon Shamroy
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	ヘンリー・フォンダ シルヴィア・シドニー ウィリアム・ガーガン バートン・マクレーン ジーン・ディクソン ジェローム・コーワン	Henry Fonda Sylvia Sidney William Gargan Barton MacLane Jean Dixon Jerome Cowan

マーガレット・ハミルトン	Margaret Hamilton
ウォード・ボンド	Ward Bond
グイン・ウィリアムズ	Guinn Williams
ジャック・カーソン	Jack Carson